

# 議会だより

令和8年  
6月定例会  
令和8(2026)年  
8月1日発行  
.....

No. 179



## CONTENTS

- 後期高齢者人間ドック・脳ドック助成事業／  
令和8年6月議会臨時会が開催されました
- 一般質問(8人)
- 各常任委員会Q&A／条例改正／  
議長交際費
- 編集後記

編集・発行／佐賀県江北町議会広報特別委員会

初夏の風薫る岳地区の棚田。先人から受け継ぎ棚田  
を守る農家の営みに感謝したいですね。

# 後期高齢者人間ドック・脳ドック助成事業

## 1 事業の目的等

国民健康保険の被保険者が人間ドックや脳ドックを受診した場合には、町から費用の助成を受けることができるが、後期高齢者医療制度へ移行後は、同様の助成制度がなく全額自己負担で受診されている。

近年、健康志向の高まりにより、人間ドック等のニーズがあることから、後期高齢者医療の被保険者に対し、町独自で人間ドック等の助成を行うことにより、生活習慣病やその予備軍を早期に発見し、適切な保健指導へと結びつけ、重症化の予防及び医療費の適正化を図る。

## 2 助成内容

| 人間ドック・脳ドック                  | 人間ドック + 脳検査                 |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 助成額上限 25,000円（自己負担額10,000円） | 助成額上限 35,000円（自己負担額10,000円） |

# 令和8年6月議会臨時会が開催されました

令和8年6月議会臨時会が6月30日に開催され、議案第38号江北町一般会計補正予算（第2号）を賛成多数で可決しました。

今回の補正予算の概要についてお知らせします。

補正額1億768万8千円を増額し、歳入歳出予算総額が82億1,284万1千円となりました。江北町では、物価高騰から町民を守る『4つの柱』を軸に適切な時期に適切な支援が行われています。

## 1.『暮らしを守る』支援策として

- ・町内各地区の地域活動が停滞しないよう活動費用を全地区に支給 …… 1,910万5千円
- ・各家庭に設置する省エネエアコンの購入費用の一部補助 …… 2,017万円
- ・町指定ごみ袋作成費用の高騰分の予算を確保 …… 342万1千円

## 2.『産業を守る』支援策として

- ・肥料、農業生産資材の高騰の影響を受けている農業者に補助金 …… 1,259万4千円
- ・原材料の価格高騰に直面する小規模事業者に対する運営支援金 …… 2,660万1千円

## 3.『学びを守る』支援策として

- ・子育て世帯の経済的負担軽減を目的に乳幼児の給食費を支援 …… 1,793万9千円
- ・要保護・準要保護世帯の児童生徒に対する学びの機会の確保に支援 …… 285万8千円
- ・文化・スポーツの分野において活動が停滞しないよう活動費を支援 …… 500万円

三苦 紀美子  
みとま きみこ  
議員



## 中学校校門の横断歩道に小旗を

町長 教育委員会の通学路対策を受けて町長部局としても対応していきたい

**議員** 毎朝先生達が交代で誘導していただいている。下校時には左右も見ないで渡る姿を見かけ、小旗の用意をお願いしたい。小さい事ですが子ども達にとつては大きな事では

**教育長** 状況把握のため交通量を調査。又、町内の通学路の横断小旗の点検を行い、無くなっているところもあり補充交換を行った。

警察の方でハンドサインが推奨されており、左右確認とハンドサインを促していきたい。今後、交通安全対策協議会で協議して、小旗設置場所や必要性を伝えていく。

**議員** 一人でも犠牲者が出たら大変なので宜しくお願いしたい。

**町長** 教育委員会の通学路対策を受けて、町長部局としても対応していきたい。

### 事前落水におけるため池活用の考え方は

**地域づくり課長**

ため池は事前落水の要請をかけたとき一遍に落とすことは難しいため、長期的な予報で水位を管理していただきたい

**議員** 過去、町内ため池30箇所内の17箇所と幹線水路を活用し50万トンの洪水調整を想定との回答を受ける。

3月議会で、実施された調査内容はどの問いで、ため池のシミュレーションを実施と回答。例として山口新堤の説明。150ミリの雨で4割程度12万トン落水しても復元可能と計算上分かったが、復元しなかった場合の心理的要因が残ると回答された。

12万トン排水に要する時間。また、排水に

長時間要する場合、連続運転は可能か。

**地域づくり課長** 排水に要する時間は2日半。

町が持つ事前放流にシミュレーションを管理者と共有し、水位管理の目安としていただくようにしている。

**議員** 連続落水は不可能と思うが。

**地域づくり課長** 落水は、干潮時間を目にかけてするようにしている。

**議員** 排水に長時間要する場合、落水開始の指示を出す予想降雨量、排水開始を指示する時間は。

**地域づくり課長** 要請は、早期注意報が高、又は予想降雨量24時間100ミリが出た場合、干潮時、樋管からの排水が円滑に流れるように対策に努めている。

**議員** 長時間排水となった場合、末端排水施設の能力及び六角川の潮位との関係の考え

方は。

**地域づくり課長** 干潮時に樋管からの排水を前提に考えている。干潮時前後3時間で事前排水を行っている。

**議員** 貯水が回復しなかった時の解消対策は。

**地域づくり課長** 平野部は筑水からの水が供給され、比較的安定。北部はため池に頼らざるを得ないことで、心理的、自衛的意識が働く傾向にある。町は2つの対策を実施している。一つは、渇水対策事業。もう一つは、水利組合



山口新堤全景

や地域との利用調整を行うことで心理的不安の解消に努めている。

**議員** 17箇所のため池のうち、12箇所のため池についても、各々排水量及び復元に要する雨量は確認されているか。

**地域づくり課長** 調査は未実施である。町が持つため池のシミュレーションを管理者の方に共有し、ため池管理の目安として活用していただく。

**議員** 3本の柱の中で、「溜める」は初期の内水氾濫防止のためのポケットを確保することは最重要課題であると思っている。

**地域づくり課長** ため池は事前落水の要請をかけたとき一遍に落とすことは難しいため、長期的な予報で水位を管理していただきたい。それにより、ため池のポケットが生まれる。

土淵 茂勝 議員  
どろぶち しげかつ



## 町立図書館の建設を求める

**教育長** ネイブルの図書コーナー利用の促進が先決と思う



改善が待たれるネイブルの図書コーナー

**議員** 江北町には公立の図書館がない。また、郷土資料館もその機能を充分果たしていない。図書館の役割として①知る権利と情報格差の是正②生涯学習と個人の成長の支援③地域社会と課題の解決④信頼できる情報のナビゲーター、主にこの4点があげられている。図書館の建設場所としてB&G跡地の利用ができないか、併せて郷土資料館の併設を提案する。

**教育長** 議員指摘の役割に同感である。ネイブルの図書コーナーは財源の関係で図書館と名乗ることができなかったと聞いている。実質的には図書館機能を果たしていると感じている。ネイブルの図書コーナーの利用促進を図ることが先決と考えている。また、B&G施設解体及び利用計画は検討中である。

**議員** 社会保険、被用者保険加入者には、けがや病気で働けなくなった場合の傷病手当金や、出産前後の休業期間の収入減を補う出産手当金が支給される。しかし家族経営農業者や個人事業者、フリーランスなどが加入する国民健康保険には、これらの手当がない。こういう状況から、子供を産み育てる権利、生活の安定に関わる重大な人権上の課題として、その創設を求める声が上がってきている。

### 国保にも傷病手当金、出産手当金の創設を求める！

**町長** 県一本化を進める中で、意見交換をしていきたい

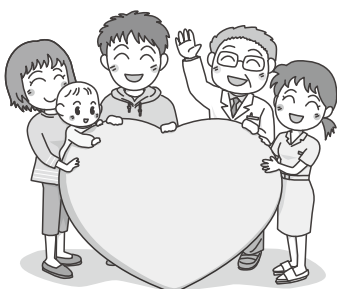
県内20市町ある中で、図書館といわれるものがないのは、吉野ケ里町、大町町、江北町の3自治体となっている。まずは今のネイブルの

図書コーナーを図書館化することを教育委員会として考えていただきたい。それをスタートにしたほうがいいと思う。

令和12年度には国保の県一本化が決まっております、それに合わせて、県や国が制度設計をするよう求めてほしい。

**健康福祉課長** 傷病手当は、新型コロナウイルス感染症対策において、国の財政支援のもと特例的に支給していた。佐賀県国保一本化に向けての協議が行われた結果、保険税負担の増額につながることから、現時点では支給しないとされており、出産手当も同様。県一本化に向けた県全体の

協議結果を踏まえて対応すべきと考える。  
**町長** わが国では、急速に少子化が進んでおり、一方で、高齢化も進む中で国民健康保険制度を持続性のある制度として、いかに維持していくか一番大事な課題と認識している。町としては、まず一本化を他の市町と連携して実現することが最重課題と思っている。正直、ここに来ていろいろな意見がでている。一本化の道を邪魔するようなことはできないと思うが、他の市町の首長さんとも意見交換はさせていただきたい。



池田 和幸  
いけだ かずゆき  
議員



## 町営タクシーの運行状況と課題は

**町長** 民間事業者の活動を尊重し、一緒に協調、連携してやるという姿勢でやっていく



4月から運行開始された町営タクシー

**議員** 町営タクシーが開始された

**町長** 駅構内タクシー事業者が撤退を決められた後、令和7年11月17日に情報共有を行った。

事業者からは、構内タクシーをしていた事業者が撤退した後、意見交換がなかったと聞いているが。

**議員** 町営タクシーの運行が4月1日から始まった。事業の目的は、移動手段を持たない方の日常生活の移動手段を確保するもの。4月末時点の登録者数は、総務政策課長 152人。5月末時点では163人。

**議員** 4月の運行時間と運行距離は、総務政策課長 運行時間は64時間、192回運行している。運行距離は1,943km。

**議員** 運行前の運転手の体調チェックは、総務政策課長 運行の前後に発熱やせきなどの症状がないかをオペレーターに申告し、呼気アルコール探知器により確認を行っている。

**議員** 民間事業者と運行開始前に話し合いは行われたのか。総務政策課長 運行開始以前に佐賀タクシーと3回、杵島タクシーと4回行っている。

**議員** 地元のタクシー

## 再質問、町道門前～畑川線の道路改良は

**地域づくり課長** 所有者の意向を確認した上で、速やかに整備費の予算計上に向けて進めていきたい

**議員** 昨年6月の一般質問により、杵島タクシーから白木酒店間に応急的な対策として、反射板が設置されたが、その後の検討は、地域づくり課長 開水路の西側に佐賀西部広域水道企業団の水管橋がある。9年度に水管橋

の移設が可能となるため、企業団と協議を進めている。

**議員** この区間を、西部広域水道企業団に合わせてする必要があるのであるのか。

**地域づくり課長** 水管橋を除くことで、この区間を一本で通れるよう

後も、共存共栄というような話がなかったと聞いているが。

**町長** お互いで話を進めているわけだから、仮に疑問や意見があれば、お互い言える関係だったはず。

民間事業者の活動を尊重し、一緒に協調、連携してやるという姿勢でやっていく。

**議員** 今年2月末に、移動支援をされている「大西未来ネットワークの会」が解散されていることは、把握されているか。

**町長** 日常的な情報共有ができていなかったことは反省すべきだと思う。

な形の整備を考えている。

**議員** 観音下区内で離合が困難な狭い道路への要望には、整備方針が決定次第説明をしたと答弁されているが、具体的な検討はされたのか。

**地域づくり課長** 全路線の拡幅は難しいので、対向車とすれ違える離合箇所を段階的に整備する方針を進める。

**議員** 令和8年度での整備方針の検討は、地域づくり課長 地元区長の情報提供をいただき、所有者の意向を確認した上で、速やかに整備費の予算計上に向けて進めていきたい。

**議員** 土地所有者の方で、道路拡幅のため土地を譲ってもいいと言われているが、対応は、町長 今回提案をいただいている所は、できるかできないかを早めに答えていく。

西原好文 議員



## 再度聞く、江北町総合排水計画の取り組みは

**町長** 町で行う事前落水は、一定の降雨が予測されるとき、干潮の時間を利用して、基本、自然流下ができる時間帯でやる



排水対策連絡会

**議員** 今年、新たに排水対策連絡会に参加された人数は。

**総務政策課長** 全体で74名、そのうち21名が新たに参加されている。

**議員** 新たな委員、何名の方が排水対策を理解されているのか。

**町長** 排水対策協議会を開催し連絡会を開いたが、水系ごとの問題点もあるので、場合によっては、また排水対策協議会を開いてもいいと思う。

**議員** 排水対策連絡会

で各水系の末端ゲートから時間帯により開閉作業を行い各ゲートの下流にポケット、水を溜めるスペースを作るといわれるが、大雨時にはゲートを一度開けるとそのままになる。

**町長** 町で行う事前落水は、一定の降雨が予測されるとき、干潮の時間を利用して、基本自然流下ができる時間帯にやろうということ。事前落水をわざわざ強制排水をして外に出さなければいけないタイミングでやるのは事前落水ではなく、いわゆる雨の対策。

**議員** 事前落水についての町の考えは。

**町長** そもそも、利水、用水であれ、排水であれ、基本的には水の管理というのは言ってみれば自

助、共助、皆さん方で本当はやっていたり、ところどころが、排水になると、自分の地区だけではなくその上下流にも影響するので、みんなですわしたうえで少しづつでも事前落水の精度を上げないといけないと思ってる。

**議員** 地区の操作員の保険対応を町でできないか。

**町長** 地区の操作員の保険対応は、各地区でお願いしている。

### 九州新幹線西九州ルート、町の考えは

**町長** 今、町として何か要望するとか何か提案するというタイミングではない

**議員** 現在、佐賀県においては毎日のように新聞等で報道がっており、国や他県との協

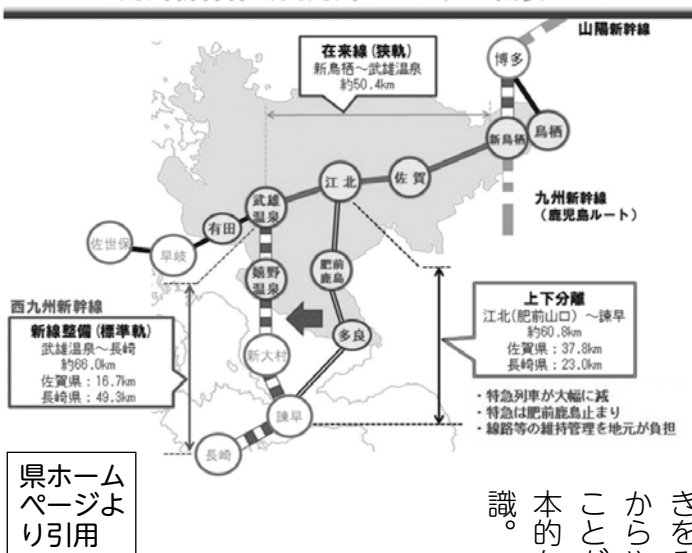
議がなされている最中だと思つ。一方JR九州は自社の考えとして、新鳥栖〜武雄温泉間の詳細ルートを特定せずに実施する環境影響評価、アセスメントの範囲に関し佐賀空港を含めると現実的ではないとの認識を示されている。我が町として、江北駅がどのようなになっていくかの考えを。

**町長** この新幹線問題は、知事を先頭に県と国でやり取りをされている。町として何か要望するとか何か提案することかということは逆に差し控える。

**議員** 私の考えとして佐賀県はトンネルで通過する県ではないと思うが。

**町長** 今、県で一生懸命されているので、そういう動きをみてからやるべきことが基本的な認識。

### 九州新幹線（西九州ルート）の概要



県ホームページより引用

田中 宏之  
たなか ひろゆき  
議員



## どうなる小・中学校の体育館の空調設備

**町長** 一日も早く子供達の教育環境の整備に  
しっかり手を入れていきたいと思う

**議員** 国内の平均気温は上昇傾向にあり熱中症の被害が多発している。文部科学省によると学校で起こる熱中症による死亡事故の殆どが体育授業中やスポーツ活動によって発生していると報告されている。熱中症のリスク回避、地域の防災拠点としても小・中学校の体育館に空調設備の整備が必要と思う。国内、県内の学校体育館のエアコン設置率はどうなっているのか。今後どのような動きがあるのか。

**こども教育課長** 設置率は全国平均が22・7%、県内は0.8%であり、令和8年、9年度中に県内全ての市町でエアコン設置を予定している。

**町長** 今年から「全国公立学校施設整備期成会」の会長に就任した。任期は2年間なので、教育委員会は是非私を



江北小学校体育館



江北中学校体育館

使ってもらいたい。他市町と同じタイミングで設置となるので、予定通りできるか心配している。1日も早く子供達の教育環境の整備にしっかり手を入れていきたいと思う。

**議員** エアコン設置の時期や空調方式はどうなるのか。

**こども教育課長** 今年度中に基礎調査を済ませ空調の方式を決定したい。令和9年度中に設置工事を行う予定。

**町長** 取り組みが他の市町より遅れている。追いつき追い越せて教育委員会にはやって欲しい。

**議員** 予算と財源は。こども教育課長 今年度行う基礎調査、実施設計で積算したい。財源は緊急防災・減災事業債等を想定している。

**議員** 文部科学省の学校施設環境改善交付金は活用できないのか。

**こども教育課長** 交付金も活用したいが上限額等、色々しぼりがある。いずれにせよ基礎調査で予算額が積算できたところ

で財源は検討する。

**町長** 町として一番有利な財源を活用し費用負担を抑えたい。

**議員** 体育館は断熱性

### 部活動の地域移行と送迎は

**教育長** 7月から地域認定クラブの受付開始予定、送迎の課題も目を向けていく

部活動の地域移行とは公立中学校を中心に教員が担ってきた部活動を地域スポーツクラブや文化団体等に移管する取り組みだが、我が町はどこまで進んでいるのか。

**教育長** 4月に地域認定クラブ活動の認定要項を決定している。今月に関係者の説明会を開催し、7月から地域認定クラブの受付開始予定。国が言う部活動指導員ではなく顧問を補助する専門的な指導を行うボランティアの外部指導員が望ましい。

**議員** 外部クラブへの移行に伴い月謝等の費用負担や保護者による送迎が必要になる場合もある。現在でも中学校に限らず小学校のクラブでも他校との試合や練習は保護者が送迎している。教育委員会としてルールを作り何らかの補助はできないか。

**教育長** 原則、現地集合であり保護者が送迎している。福島県の交通事故に伴い保護者とも危機感を共有し保護者送迎の課題にもしっかりと目を向けていく。

酒井 明子 議員

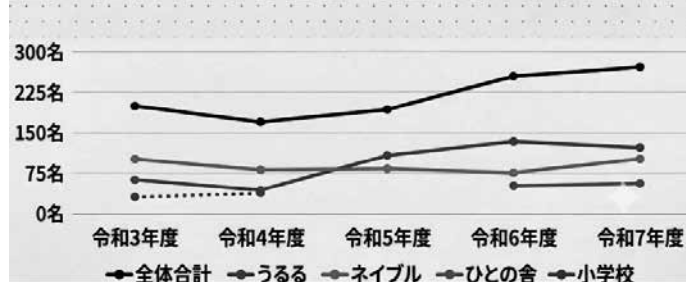


# 放課後児童クラブ（学童）の施設環境の向上を求む

教育長

「放課後クラブひとの舎」に1区分から2区分に拡充いただき、待機児童を出さない取り組みをした。現時点でこれ以上増える事は想定していない

## 登録児童数の5カ年推移（折れ線）



## 登録児童数 詳細データ一覧

| 年度    | うるる  | ネイブル | 小学校 | ひとの舎（新設） | 全体合計 |
|-------|------|------|-----|----------|------|
| 令和3年度 | 62名  | 97名  | 33名 | —        | 192名 |
| 令和4年度 | 45名  | 82名  | 39名 | —        | 166名 |
| 令和5年度 | 107名 | 83名  | —   | —        | 190名 |
| 令和6年度 | 132名 | 78名  | —   | 52名      | 262名 |
| 令和7年度 | 122名 | 102名 | —   | 56名      | 280名 |

和6年度より「ひとの舎」が新設。令和3～4年度の「合計」には小学校登録分を含みます。

**議員** 現在、少子化、人口減少は極めて深刻な局面にあり、本年5月に発表された全国の子ども15歳未満の数は45年連続減少。総人口に占める割合も10・8%と過去最低を更新し続けている。

一方、我が町は県内トップ近年最高を記録するなど子育て世代に選ばれる町としての底力を発揮している。子

どもの多い町だからこそ、放課後の居場所、学童保育の過密化や環境維持は保護者にとって極めて関心が高く、共働き世代が増加し、学童の施設環境の質を維持向上させることは、働く親世代の安住促進、子ども達の健全育成に直結する極めて重要な課題。町内の学童の登録児童数と1日平均利用者数、長期休暇最大

利用者数を過去5年分。又、国の示す基準、専用面積に満たされていないか。

**こども教育課長** 登録児童数と1日平均利用者数を表に示す。又、全ての施設が面積基準、児童1人につき1・65㎡以上の基準を満たしている。

**議員** 現在、全ての申請児童を受け入れ、高学年の児童利用が増える中、受け入れスペースの確保や待機児童を出さないための対策は。

**教育長** 今年度から民間法人「放課後クラブひとの舎」に1区分から2区分に拡充いただき、待機児童を出さない取り組みをした。現時点でこれ以上増えることは想定していない。

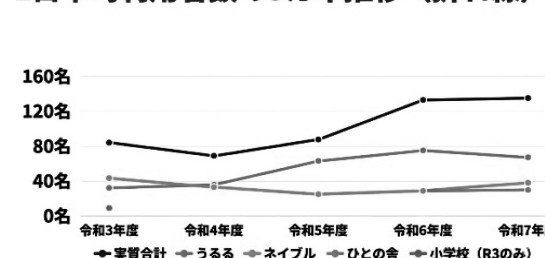
**議員** 江北町こどもセンター「うるる」は、児童館（0～18歳の無料利用施設）と学童の共存状態。佐賀のへ

そ・ふれあい交流センター「ネイブル」は、生涯学習の場、文化・体育の場と学童の共存状態。ネイブルの学童利用は一時的と言われながら5年。根本的な改善は。

**教育長** 限られた公共施設の有効利用を検討する中、通所や送迎の利便性、空調設備が整備されている条件のいい施設を利用している。ネイブルのパソコン室を改修予定で、会議室の一般利用にも支障が出ないよう改善を重ねる。少しでも環境のいい所があれば移す事も視野に入りたい。

**議員** 指定管理の「ネイブル」の開館時間は8時半～22時。学童は8時～18時半（条例なし）。直営の「うるる」の開館時間は9時～17時。学童は8時～18時半（条例あり）。時間のズレがあり整理が必

## 1日平均利用者数の5カ年推移（折れ線）



要では。

**教育長** 「ネイブル」の指定管理は学童の活用も含め協定を結んでいる。時間のズレは改善策を協議する。直営の「うるる」は学童の入り口を別にし管理を変えており問題ない。

**議員** 危機管理マニュアルに、熱中症対策と衛生管理マニュアルの策定を求む。

**教育長** 危機管理マニュアルの熱中症対策と衛生管理マニュアルは直ちに見直したい。

田村 康  
議員



## 今後の空き家対策と空き家の活用について

町長 空き家を町として活用するよりは民間の流通に乗せる

**議員** 現在把握されている空き家の総数とそのうち使用可能な空き家は何件あるか。

**地域づくり課長** 現在把握している空き家の総数は205件、このうち、大きな改修を行わずにそのまま使用ができる空き家は82件と把握している。



ごみ屋敷

**議員** 使用可能な空き家に、町として対応されていることはあるか。

**地域づくり課長** 使用可能な空き家は、江北町空き家等情報登録制度で物件情報を公開しており、制度の開始以降、35件の登録があり、うち25件が成約している。

**議員** 使用可能な空き家は、町内の不動産業者等と協力して中古住宅として取り扱うことは考えられないか。

**地域づくり課長** 不動産業者の協力は、空き家等情報登録制度に登録している物件の交渉や契約のサポートをお願いしている。これまで13件の中古住宅が売却をされている。しかし、直近の取引としては令和2年で終わっている。

使用可能な空き家は、道路の接続が悪く、荷物が残っていて、相続登記が進んでいない等の問題があるため、賃貸、売買に出せない物件も数多くある。こうした課題もあり有効活用につながっていないのが現状の課題認識である。

**議員** 今後、町として使用可能な空き家を活用する予定はあるか。

**町長** 町として活用というよりは民間の流通に乗せた方が良いと思う。民間の不動産会社との間に入る。役場にしかできないことがあると思う。

**議員** 特定空き家等の準備と言われる管理不全空き家等は何件あるか。また、管理不全空き家等への対策は行われているか。

**地域づくり課長** 管理不全空き家は現在35件あり、現状の対策としては、文書指導、直接の訪問で地道に対応している。



壊れかけの家屋

### 成年後見制度について問う

**健康福祉課長**

判断能力が十分でない方が、各種手続において不利益がないよう支援する制度

**議員** 成年後見制度で首長申立てによる制度を利用する場合の条件の説明を求める。

**健康福祉課長** 成年後見制度は、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方が財産管理や各種契約手続において不利益を受けることがないように支援する制度。成年後見等の開始の申立ては原則として本人、配偶者、四親等内の親族などが行うこととなっているが、親族による申立てが難しい場合は、本人保護の観点から町長が家庭裁判所へ申立てを行うことができる。

### 少人数学級の導入状況は

**教育長** 江北

中学校は少人数学級ができている

**議員** 県では2025年度から市町立の中学校1年生に少人数学級を導入しているとのことだが、江北中学校でも既に導入されているのか。

**教育長** 江北中学校1年生から3年生まで全て少人数学級編成ができている。



少人数学級での授業

江頭 義彦 議員  
えがしら よしひこ



## 安全で迅速な「引き渡し」を求む

教育長 「引き渡し」訓練の在り方について研究したい

**議員** 家族が送り届け  
たはずの児童が学校に  
登校しておらず、行方  
不明になった事案から  
「報告・連絡・相談」  
の再確認を求める。欠  
席の連絡は、基本、誰  
が誰に連絡を行うもの  
か。

**こども教育課長** 基本的  
には、保護者から携帯  
電話のマチコミアプリ  
にて連絡してもらう。  
さらに電話での対応も  
7時30分から受け付け  
ている。共通の欠席・  
遅刻届けを使用し、各  
担任へ伝えている。

**議員** 連絡がなく、欠  
席している児童・生徒  
には、どのような対応  
をされているのか。

**こども教育課長** 朝の時  
間の健康観察の時点で  
連絡がなく欠席をして  
いる児童・生徒には、  
担任が1時間目の休み  
時間までに家庭へ連絡  
を取っている。留守電  
や電話がつかない

時には、教頭、主幹、  
教務のいずれかに、電  
話を入れた事を報告し  
ておく。折り返しがな  
い場合は、給食前に電  
話を入れるようにして  
いる。遅れて登校して  
きた児童・生徒の保護  
者には、事情に合わせ  
て、保護者が過度に負  
担を感じないように声  
掛け等を行っている。

**議員** 大雨や台風、地  
震等の自然災害、原発  
事故や変質者等の緊急  
時の児童・生徒の引き  
渡しはどこで、どのよ  
うに行うのか。

**教育長** 一旦は体育館  
や運動場に避難し、校  
舎の安全性が確認され  
た段階で教室に戻って  
保護者の迎えを待つ形  
を取りたいと考えてい  
る。

**議員** 引き渡し訓練は、  
前回はいつ実施された  
のか。

**教育長** 小学校は令和  
5年5月17日に実施さ

れた。中学校は、今年  
度予定されている。  
**議員** 引き渡し訓練を  
保護者の協力を得て年  
に1回は実施してほし  
い。今後、安全で迅速  
な引き渡し体制につい  
ての町の考えは。

**教育長** 様々な災害に  
は少し整理を行い、引  
き渡し訓練の在り方を  
研究していきたいと思  
っている。

**議員** 中学校の避難用  
出口として、グラウン  
ドの南口から避難する  
方法を検討していただ  
きたい。

**教育長** 中学校は来年  
度から文部科学省の学



中学校唯一の避難用出口

校安全総合支援事業の  
モデル地域指定校にな  
る事が内定している。  
この事業を活用しなが

### 学校における救命活動の推進は

**教育長** 研修の趣旨を徹底していきたい

**議員** AEDは小・中  
学校で何台、どこに設  
置されているか。确实  
に使える状態になって  
いるのか。

**こども教育課長** 小学校  
は、南校舎玄関入口に  
1台、体育館南側入口  
に1台、計2台ある。

**議員** AEDを使った  
研修は毎年実施されて  
いるのか。

**こども教育課長** 小学校、  
中学校共に毎年実施し  
ている。

**議員** 職員や児童・生  
徒に対する研修は具体

ら、避難訓練、あるい  
は引き渡し訓練の実効  
性ある計画を立ててい  
きたいと考えている。

**こども教育課長** 白石消  
防署から講師を派遣し  
ていただいている。

**議員** 教育長はAED  
を迅速に使えるための  
研修が必要との事で  
あったが、具体策は。

**教育長** 現場に居合わ  
せた職員が適切にAED  
を使用できるように、  
研修を重ねておく必要  
があると考えている。



研修が必要なAED

総務文教  
常任委員会



江北小学校体育館の倉庫（スポットクーラー）

**問** 避難所生活環境整備簡易トイレ等、資機材の購入は、体育館の整理が必要では。また、スポットクーラーとジェットヒーター等は平時でも使用可能か。

**総務政策課長** スペース確保は、教育委員会と協議する。スポットクーラーとジェットヒーターは、空調が入るまでの間、平時でも使用しても構わない。

**問** 江北小中学校GIGAタブレット端末更新に伴い、タブレットの持ち帰り学習課題の現状は。

**こども教育課長** これまでの端末は、情報共有や生徒の動作が見えなかった。今回、グループフロムに変更し、アイクラウド上で情報共有するので、生徒がどういう操作をし、どういうアプリケーションを開いているのかが分かるようになるため、活用が向上し、持ち帰りが可能となる。

また、フィルタリングの掛け方でYouTube等が見れない設定も可能。学校と協議の上どういった使い方がいいのか決めていく。

**問** 不登校児童生徒、病児など長期で休んでいるお子さんにオンライン授業を受けられるよう取り組んでもらいたい。

**こども教育課長** 教育支援センター「こあら」ではオンライン授業をやっている。不登校・ひきこもりの児童・生徒にそういう機会を与えていくのが当然だと思っている。

**問** 上水道量水器減径工事における「逆流防止弁」はどのような時に設置されるのか。

**町民生活課長** 「逆流防止弁」は、30ミリを超える口径の上水道メーターの取り付けの際に設置される。

ただし、25ミリ以下の口径については、メーター直結止水弁に逆流防止機能が備わっているため設置する必要はない。

総務文教常任委員会 町内視察

◆期日 6月11日

①産業厚生常任委員会と合同で、農道西分5号線の護岸崩落箇所の視察を行い、地域づくり課から状況の説明を受けた。

②小学校・中学校・ネイブルの避難所生活環境整備資機材の保管場所の確認と現在の保管状況を視察し、総務政策課から説明を受けた。



保管場所の小学校体育館

ネイブルの保管倉庫



中学校体育館のスポットクーラー



ネイブルの破損している緞帳

③ネイブル多目的ホールステージの破損している緞帳は、補正予算の設備等撤去委託料により撤去される予定だが、その後のことはまだ決まっていない。

産業 厚生  
常任委員会

**問** インフルエンザの補助は、0歳～15歳までの1,500人。

大体60%、予算をつけられている。全部は打っていないと思うが。

**健康福祉課長**

令和7

年度実績は24・4%と低い。今回、無償になることから、多くの方に接種いただけると思い、接種率を60%と見込んだ。

**問**

子供の場合、皮下と経鼻があるがこの違いは。

**健康福祉課長**

皮下接種は腕の方に、経鼻接種は鼻の粘膜に入れるようになっている。

乳幼児は、接種しやすいワクチン体制が整っていると考えている。

**問** インフルエンザ

助成事業は物価対策としてとあるが、今年1

年で終わるのか。

**健康福祉課長**

現時点

では今年度事業として計画、事業の実績を見て来年度に向けて検討していきたい。

**問** 基盤整備促進事

業の受益者分担金12・5%、一反あたりの金額はどのくらいか。

**地域づくり課長代理**

反あたり28万円ほどかかる見込み。12・5%で3万5千円ほどになる。

**問** 受益者分担金は、

小作人が、或いは地主かどちらが払うのか。

**地域づくり課長代理**

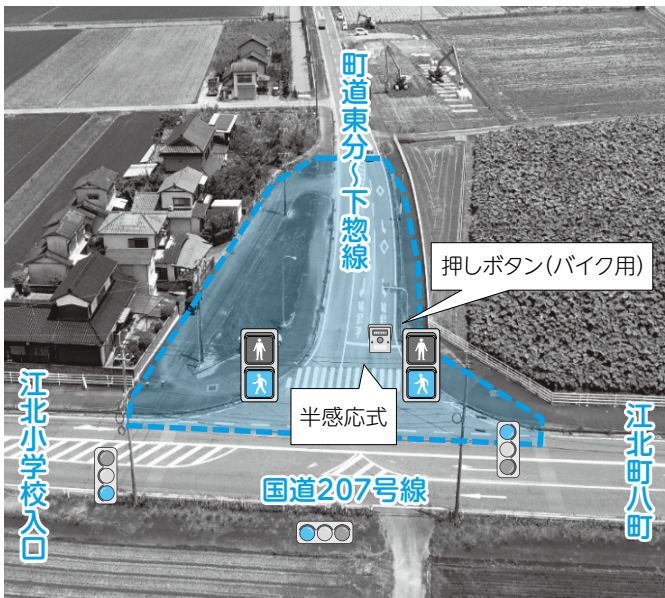
決め方としては、双方の話し合いで、どちらでも良い。

**問** 暗渠排水型（面

整備）は、85ヘクタール、これはもう調査済みと思うが、令和8年度は、そのうち20ヘクタール、大体どのあたりか。

**地域づくり課長代理**

受益者139名、農談



町道東分～下惣線道路改良工事の現場箇所

**地域づくり課長**

交差点

会の折にとりまとめ集計した。どこをするかは決めていない。7月頭に農談会等があるので、そのタイミングで決めたい。

**問** 町道東分～下惣

線道路改良工事に関して、課長の説明では、4千万円ほどだったとのことだが、前が3千万円だったので7千万円の工事となる。この場所だけの工事か。

**地域づくり課長代理**

駅南からの三叉路を先にする計画であったが、順番を入れ替え、207号線のタッチ箇所全面復旧を進めていく。駅南の三叉路は、来年度以降に継続していく。

だけの工事で、先まではできない。

**問** 駅南線とカント

リロードの三叉路のところはいつになるのか。

**地域づくり課長**

シンリ

グー部分の取り外しは

前もってできるが、取り付けは、取水期を越えて11月ぐらいの予定。

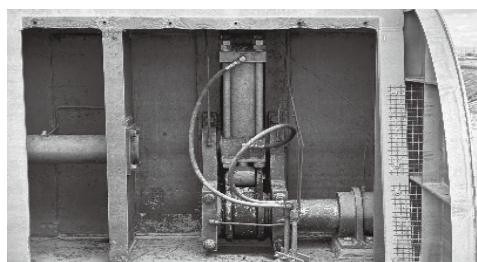
**問** 八町制水門油圧

シンリダー分解整備工事は、いつごろから始めるのか。

**地域づくり課長**

シンリ

グー部分の取り外しは前もってできるが、取り付けは、取水期を越えて11月ぐらいの予定。



機能的な冠水対策を

**問** 大豆コンバイン

補助対象機械の標準事業費が改定された。どれぐらい変わったのか。

**地域づくり課長**

改定前

760万円から改定後990万円に変わった。近年の物価高騰等を踏まえてひきあげられた。

標準事業費に対して、県が3分の1、町費が10分の1を負担。

**問** 大区画化等加速

化支援事業、40町のうち10町、考え方は、暗渠排水と同じか。

**地域づくり課長代理**

昨年までしていた畦畔除去の事業。要望を基に28名、40ヘクタール。今年度どこということには決まっていない。抽選会等で決めていきたい。スタート年度ということで、追加も受け入りたい。

**問** 空き家等の適正管

理事業で旅費を2千円増額している。これはどこに行くのか。

**地域づくり課長**

いわゆる、空き家等対策協議会における出席費用弁償が900円から1,100円に改定になった分の必要な差額分を増額している。

産業厚生常任委員会 町内視察

① 執行部から依頼があった農道西分5号線、護岸崩壊箇所を総務文教常任委員会とともに視察をした。すでに、復旧費用などが概算で示されており、速やかな対応が行われていた。



崩壊箇所（河川と道路）



② 八町地区で実施されている暗渠「豎管式水閘（すいこう）」モデル事業を視察、満水した古川に入らなくて排水できる仕組みになっており、農家による安全な排水作業ができる状況を確認できた。



豎管式水閘暗渠

③ がけ崩れが発生している門前地区の道路「安坂線」を視察した。ここは、令和8年3月議会で現地確認をした場所。現在はその時よりも落石が増えており、常に危険な状態であることがわかった。



がけ崩れの箇所

この道路は、地区の方々が頻繁に利用されているとのこと、早急な対応が必要となっている。

④ 白木パノラマ孔園を視察した。園内に建てられている2カ所の看板は、新しく替えられ、公園らしい雰囲気になっていった。園内の遊具の塗り替え、修復など近日中に行う予定。まだらになった道路の硬いコンクリート部分に滑り止めの溝をつけるなど検討し、年次計画で進めていくとの

こと。各地からの来園者も増えてきており、速やかな対応が求められる。



新しくなった看板



まだらになった道路

条例改正

● 町長及び副町長の給料の支給額の特例に関する条例  
（全会一致で可決）

● 江北町監査委員に関する条例の一部を改正する条例  
（全会一致で可決）

● 江北町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例  
（全会一致で可決）

● 江北町基盤整備促進事業に係る受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例  
（全会一致で可決）

人権擁護委員の選任

平田 つたみ 氏（新任）  
杉山 俊也 氏（新任）

固定資産評価審査委員の選任

山中 晴巳 氏（新任）

議長交際費の公表

議長が町議会を代表し、対外活動等のために支出した交際費を公表します。

○ 交際費支出状況 ○  
（令和8年4月～6月支出）

| 項目  | 件数 | 支出額    |
|-----|----|--------|
| 会費  | 2  | 8,000  |
| 弔意費 | 0  | 0      |
| その他 | 1  | 5,000  |
| 合計  | 3  | 13,000 |

# 八大竜王に響く太鼓の祈り

## 八大竜王

仏教の法華經に登場する八柱の竜王

日本では古くから「水を司る神」として信仰され、農村では雨乞いの神として各地に祀られるようになりました。



江北町は古くから六角川流域の穀倉地帯で、稲作に水は欠かせません

祖子分地区では八大竜王の前で太鼓を打ち鳴らし、台風などの災害が来ないように祈る「とうや（風祭り）」が毎年8月31日に行われています。

### 編集後記

最近では何でもスマートフォンで済む便利な時代になりました。それでも、地域で交わす『おはよう』の一言や、季節の話しに花が咲くひとときには、心が温かくなります。そんな何気ない日常を大切にしながら、これからも笑顔あふれる町であってほしいと願っています。（古賀）



### 議会広報委員会

委員長  
副委員長

池田 和幸  
土淵 茂勝  
田村 康  
古賀 里美  
酒井 明子